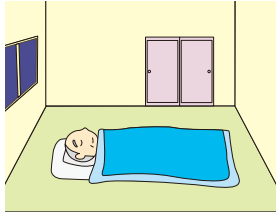


家の中の安全対策



2

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

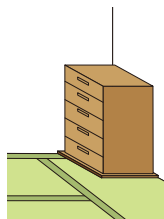


1 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



3 家具は倒れにくいように置く



家具は壁や柱との間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。置の上に置く場合は、家具の下に板を敷く。

4 安全に避難できるように出入口や通路には物を置かない

玄関などの出入り口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かない。また、玄関にいろいろな物を置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒・落下を防ぐポイント

タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



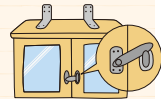
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。



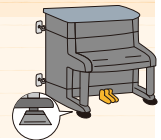
テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



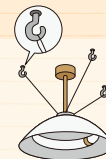
ピアノ

本体にナイロンロープなどを巻きつけ、取り付け金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



照明器具

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



家の周囲の安全対策

屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場合には何も置かない。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖でしっかり固定しておく。

安全なブロック塀の目安

- ☑ 鉄筋はきちんと入っているか。
- ☑ 基礎はしっかりしているか。
- ☑ 控え壁は設置されているか。
- ☑ すかしブロックはできるだけ使用しない。
- ☑ 傾きやひび割れ、破損箇所はないか。
- ☑ よう壁や石積みの上に設置していないか。
- ☑ 盛り土や土留めになっていないか。
- ☑ 新たにつくるときはより安全な生け垣やネットフェンスにしましょう。

わが家の耐震診断をしよう

わが家が地震に耐えられるのかを知るために、「耐震診断」をしましょう。倒壊の恐れがあるという結果が出た場合や不安がある時は、専門家に相談して必要な補強をしましょう。

※ 耐震診断・相談は
市の建築指導課指導審査係へ